

令和4年度

公益財団法人市川市花と緑のまちづくり財団事業計画

事業活動方針

公益財団法人としての使命を意識し、花と緑の普及啓発や緑地の保全に寄与する各種事業を展開しながら、花と緑のまちづくりを推進する。

令和4年度も、引き続き広範囲の講座をより充実して進め、市民参加の担い手となるボランティアの育成を図っていく。

市から受託しているバラ園の管理については、市との連携を図りながら、市民との協働により事業を進めていく。更に、バラ園のある公園などの一部において緑地、花壇等を管理する受託事業を拡大し、都市景観の形成を図る。

また、緑地の管理については、環境保全に貢献する地元企業との協働事業を推進するとともに、市民参加のもとで開始した樹木の名札付けの事業を、主な公園緑地において地元企業の協賛を得ながら計画的に実施していく。

その他、基本財産の積立及び適正かつ効率的な運用に努めていく。

第1 公益目的事業

1 花と緑に関する講座の開催

花と緑の普及啓発を図るため、引き続き各種講座を開催する。また、将来的な公園緑地管理の受託を考慮し、市民参加の公園管理の担い手となるボランティアを養成していく講座を開催する。

① 市川市の緑地を知る ボランティア体験教室

身近にある緑地の大切さを学び、里山や緑地のボランティア活動を体験する教室。

里見公園及び市内緑地の現場で4月～7月まで全6回。募集人員は20名。

② バラの育成講座

市民の花バラを美しく咲かせるため、バラの育成、管理について学ぶ年間講座。

大洲防災公園（実習は里見公園）にて、4月～翌年2月まで全8回。

募集人数は30名。

③ 素敵なガーデニング講座

NHK趣味の園芸出演の人気講師や園芸各分野の専門家を講師として招き、講義していただく講座。

全日警ホールにて、4月～11月まで全6回、募集人員は100名。

④ ナチュラルガーデナー養成講座

講師と共に、ナチュラルガーデンを作り、適切に管理するために必要なお庭造りの基礎知識を学ぶ講座。

大洲防災公園にて、5月～翌年3月まで全7回。募集人数30名

- ⑤ はじめてのガーデニング講座
家庭園芸の技術を楽しく、実践的に基礎から学ぶ講座。
財団研修室にて、4月～12月まで全6回。募集人数は20名。
- ⑥ 庭木の手入れ講座
自宅の庭木の手入れ法を植木の専門家から学ぶ講座。
里見公園にて、6月～11月に全5回。募集人数は20名。
- ⑦ ハンギングバスケット講座
壁や門扉を利用して花や緑を楽しむハンギングバスケットづくりを学ぶ講座。
里見公園にて、5月～11月まで全3回。募集人数は30名。
- ⑧ 寄せ植え講座
季節の寄せ植えを学ぶ講座。
里見公園及び南行徳市民センターにて、6月～12月まで全3回。
募集人数は里見公園60名（午前午後）、南行徳30名。
- ⑨ その他単発講習会
親子で木工工作体験などの講座。（クリスマスリース作り、ミニ門松作りなど）
11月、12月予定

2 園芸相談

市民から来訪、電話、葉書き等で寄せられる園芸に関する相談に対し、随時対応する。

3 催し物等の開催

花と緑のまちづくりに関する普及啓発を図るため以下の催し物を開催する。また、各種行事に参加・協力して、財団のPR及び花と緑の普及啓発を推進する。

- ① いちかわローズフェアの開催
市民の花バラの展示及び普及促進、並びに花と緑のまちづくりの啓発を図るため、いちかわローズフェアを開催する。
里見公園バラ園を中心にして、5月14（土）日に開催予定。
（コロナの感染状況によっては、10月に延期の可能性あり。）
（令和2年度、令和3年度はコロナの影響で中止とした）
- ② 樹木の名札付けイベントの開催
市内の主な公園緑地において計画的に市民参加による樹木の名札付けを実施していく。
時期、場所については、検討中。
（令和2年度、令和3年度はコロナの影響で中止とした）
- ③ イベント参加
 - ・市川市主催の市民祭りや、環境フェア、その他イベントに積極的に参加し、財団のPRに努める。（令和2年度、令和3年度はコロナの影響で中止とした。）
 - ・「コルトンフラワーフェスティバル」参加予定（令和4年4月2日、3日）
 - GA ちば花緑の会と協同で、寄せ植えのワークショップを開催予定（2日間60名）
（令和3年度は4月3日、4日参加。寄せ植えのワークショップ60名参加）

4 市民活動の支援

花と緑のまちづくりに貢献する市民活動を支援する。

① 緑のボランティア活動支援

緑地の自然調査、適正な管理作業などのボランティア活動を行っている登録市民団体（8団体150名）等に対し支援を行うとともに、チェーンソーや刈払機の安全講習会などを開催し、人材の育成を図る。（令和3年度までは9団体）

② 公園花壇管理（市川ガーデニングクラブ）支援

都市公園等で行う花壇管理に関するボランティア活動に対して、年に2回、花苗などの支援を行う。

また、ボランティア活動支援のために必要な資機材を提供する。

※市川ガーデニングクラブ

（R3年度 59団体、564名、総花苗配布数 約 13,439株）

（R4年度 56団体、535名、総花苗配布数 約 12,264株 予定）

③ 樹木管理ボランティア（グリーンサム市川32名）、草花管理ボランティア（ナチュラルガーデンオブいちかわ17名）支援

バラ園周辺の樹木管理や、大洲防災公園のローゼンハイム広場の草花管理を行う団体への活動支援を行うと共に、講習会などを開催し、人材の育成を図る。

④ 花壇づくり支援

商店会等市民による地域における花壇づくりを支援するため、2年間に限り、必要な資材、花苗等を支援する。（上限10万円を2年間）

5 市民の花 バラの普及促進

1975年より市民の花と定められているバラについて、その普及促進活動を総合的に進める。

① 普及啓発

財団のホームページにバラ情報を掲載、小冊子「由緒あるバラの街 市川」の配布、「いちかわローズフェア」の開催、各種イベントへの参加によるPRなどにより、普及啓発を図る。

② 管理公開

昨年度に引き続き里見公園他6公園のバラ園について、草刈、薬剤散布、剪定等の管理を適切に行う。また、計画的にバラ園の拡充整備、あるいは補植等を行って、市内バラ園の拡充とともにそれぞれの個性化を図る。

更には、写真付の名札を付けるなど、親しみやすく観賞しやすい工夫を行い、市民に展示公開する。

③ バラ園をバラ育成体験学習の場、バラボランティア人材育成の場として活用

バラ園の一部について、バラ年間講座の体験学習の場として、また、バラボランティアの人材育成の場として活用する。（ローズオブ市川119名）

バラ園：里見公園、須和田公園、大洲防災公園、行徳駅前公園、南行徳公園、
広尾防災公園、大町動植物園、京成八幡駅前ロータリー

6 公共施設をはじめ街における花と緑の普及促進

市民生活に密接に係わり、しかも都市景観の形成に効果的な公共施設をはじめ市街地において、積極的に花と緑の普及促進を図る。

① 市役所等公共施設における推進

市役所及び公民館、学校等の公共施設において市民の花バラをはじめ、草花花壇等、花と緑を普及促進し管理を行う。

- ・市長室前にローズいちかわを入れた寄せ植えのプランター10基を設置。

市長室を訪問された市民他、多くの方々に普及していく。

- ・令和4年度より、市内小学校、中学校の花壇に花苗を配布し、子供たちにも花と緑に親しんでもらう。

(配布予定学校数 年間 70校、花苗数 年間 2,520株)

② 桜並木整備

令和3年度で、財団による管理は終了。R4年度より、管理は市川市が行う。

③ 公共施設におけるバラ園管理及び、バラ園周辺の植栽維持管理

東山魁夷記念館駐車場花壇、塩浜体育館脇バラ園、動植物園ミニ鉄広場、市川市役所本庁駐車場入り口（令和3年度完成）において、財団職員がバラを植栽し、維持管理業務を適切に行う。

又、大洲防災公園、広尾防災公園の緑地・花壇等の一部において植栽、剪定、除草、刈込等の管理業務を受託し、市民に良好な花と緑の環境を提供する。また、ボランティアを育成し、市民との協働による良好な公園づくりを通じて花と緑のまちづくりに努める。

④ 公共施設の植栽維持管理

受託事業として、市川市動植物園内の草刈り等を緑のボランティアと共に行い、適正に管理していく。

7 助成

花と緑のまちづくりを推進するために、各種助成事業を行う。

① 生垣助成

潤いのある緑豊かな環境づくりと地震や火災などの災害に対して強いまちづくりの一環として、生垣を推進するため、市民および事業所等が新たに生垣を設置する場合に助成する。

助成金額 15,000円/mまで

「助成条件」

- ・道路に面した部分に設置するもの
- ・植栽の方法は、1m当たり2本以上又は樹木が相互に葉が触れ合う程度に列植するものであること
- ・樹木の高さが 1. 2m以上であること
- ・生垣の総延長が3. 0m以上であること

② 屋上緑化助成

都市の快適環境を創出すると共にヒートアイランド現象の緩和を図る一環として屋上緑化を推進するため、市民および事業所等が屋上緑化を実施する場合に助成する。

「助成条件」

ア. 屋上緑化

建築物の屋上に3㎡以上の面積の緑化区画の造成（耐久性のある大型プランターの設置を含む）を行い、当該緑化区画に樹木等を植栽すること。

上限 500,000円

イ. ベランダ緑化

建築物のベランダに1㎡以上の面積の緑化区画の造成を行い、当該緑化区画に樹木等を植栽すること。上限 200,000円

ウ. 壁面緑化

ツタその他の樹木を植栽し、建築物の壁面又は壁面に設置したフェンス等を覆わせること。上限 100,000円

③ 花壇設置助成

市川市が進める花と緑に満たされた魅力あるまちづくりの一環として、本市内において接道部に花壇等を設置する者に、予算の範囲内で必要な費用を助成する。

「助成条件」

ア. 花壇新設

道路と接した面の延長が1m以上、幅0.5m以上、道路からの高さ0.6m以下の花壇等を設置すること。上限 15,000円/㎡

イ. プランター新設

容量100ℓ以上で長辺が道路と接すること。上限 5,000円/基

ウ. 種苗

④ 駐車場緑化助成

緑化推進の一環として、駐車場の緑化を行うものに対して、費用の一部を助成する。

緑化施設面積は5㎡以上で、1区画あたり芝または地被類が1.5㎡以上

芝または地被類と芝生等保護材が5㎡以上

上限500,000円

⑤ 緑化活動団体等への助成

普及啓発や推進活動を実施している緑化団体等に対して助成する。

第2 収益事業

1 自動販売機等の経営

自動販売機等の経営を行うことにより、公益目的を達成するために行う財団運営の一助とする。

里見公園他16公園において、財団が有償で土地を確保し、飲料水の自動販売機会社に対して37台の自動販売機の設置を許可し、運営していく。

また、アイスクリームの自動販売機は、利用度が高い10公園10台で運営しており、令和4年度においては、1～2台の増設を含め、事業拡大に努める。

令和3年度末から設置したパンの自動販売機の台数の増、及び令和4年度からは、食品等の販売を行い、収益事業の拡大に努める。

(令和3年度3月中旬に里見公園内に設置、令和4年度は、大洲防災公園、その後状況を見て、広尾防災公園に設置予定)

なお、財団は自動販売機会社から売り上げの一部を手数料として受け取り収益とし、公益事業に活用している。

第3 法人管理事業

1 基本財産の造成、管理及び運営事業

基本財産の安定化及び財団運営の健全化を図るため計画的な積立に努めるとともに、安定的かつ効率的に運用して利息収益を確保するものとする。